

Ⅲ 再編年次計画 ～ 市立幼稚園・保育所の再編はこうに進みます！ ～

市内を7つのゾーンに分け、中学校区を基本として（21頁参照）、保育ニーズや地理的事実など地域特性やバランスを総合的に勘案しながら、市立幼保施設を再編し、一体化することで「(仮称)市立こども園」を設置していきます。また、使用する施設については、既存施設の収容能力や老朽化の状況などを踏まえて決定します。

なお、再編は優先順位をもって段階的に進めますが、既存施設の閉園を伴う場合がありますので、市民の皆様へは地域ごとに説明会を行う等きめ細やかな情報提供に努めます。

(1) 再編年次計画

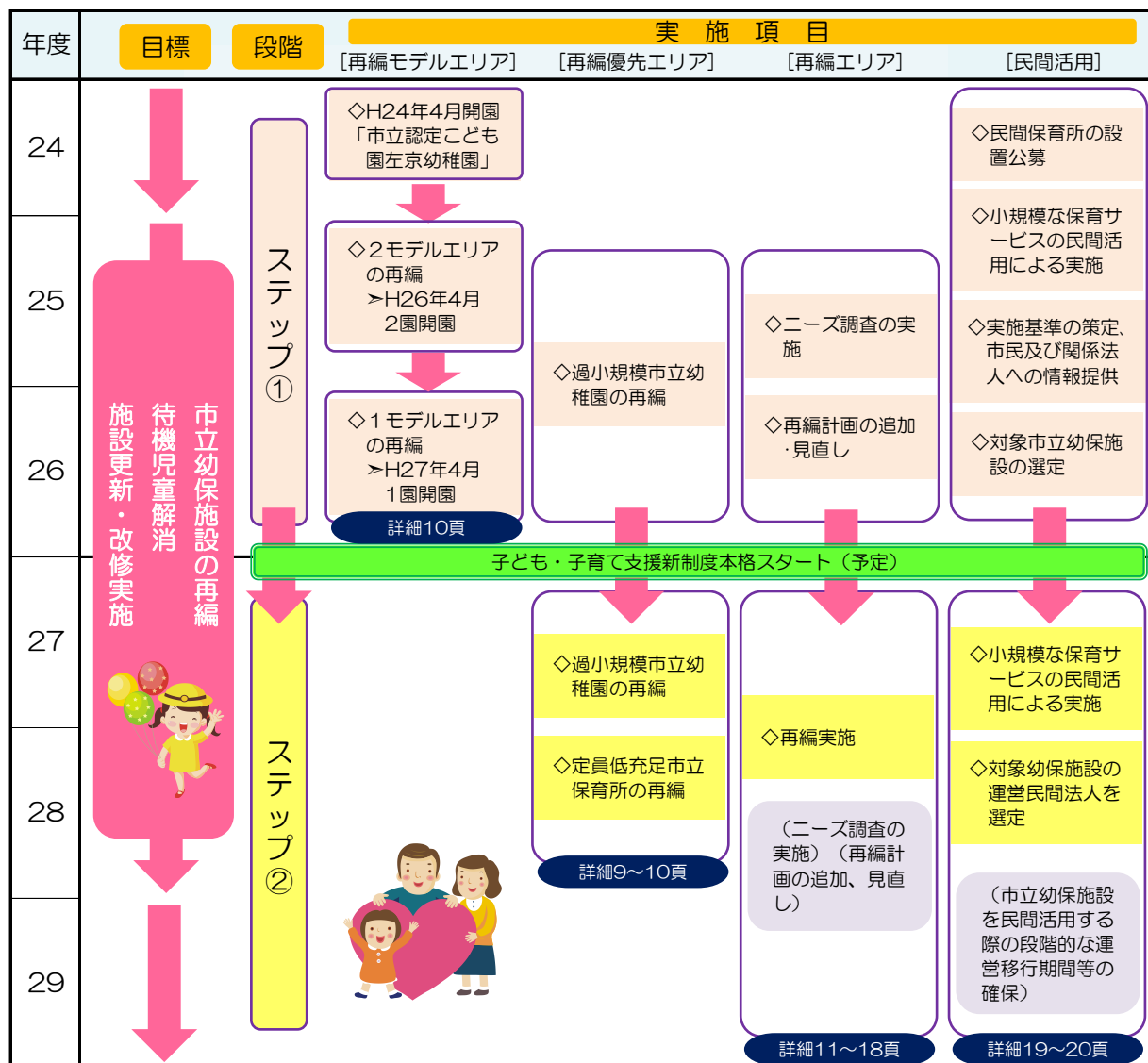
本市は、これまで幼保再編モデル園として、3園の市立認定こども園を設置してきました。これらの認定こども園では、様々な課題を一つひとつ丁寧に解決し、実績を積み上げてきたことで利用者からは高い評価を得ています。今後はこのような実績を基に、保護者や地域住民への積極的な情報提供を行いながら、スピード感をもって、市立幼保施設の統合・再編を通じた「(仮称)市立こども園」の設置を計画的に進めていきます。

すでに再編は始まっています！！

H21.4 富雄南幼稚園を認定こども園化

H22.4 都祁中学校区の6保育所を統合・再編し、認定こども園化

H24.4 左京幼稚園と佐保台幼稚園を統合・再編し、認定こども園化



(2) 園単位の統合・再編スケジュール

再編の対象となった市立幼保施設については、概ね次のようなスケジュールを基本に「(仮称)市立こども園」としての開園準備を進めます。なお、施設整備については、すべてを新設すれば莫大な経費を要することになり、国からの財政支援も望めない状況です。そこで、最少の経費で最大の効果を上げるため、既存の市有施設を有効活用すること等を視野に入れ整備を進めていきます。



(3) 市立幼保施設の統合・再編方式

各幼保施設の統合・再編による「(仮称)市立こども園」への移行については、例えば次のような方式を活用しながら実施していきます。また、再編後の各施設は、地域の実情等に応じて0～5歳児の施設または、3～5歳児の施設となります。

